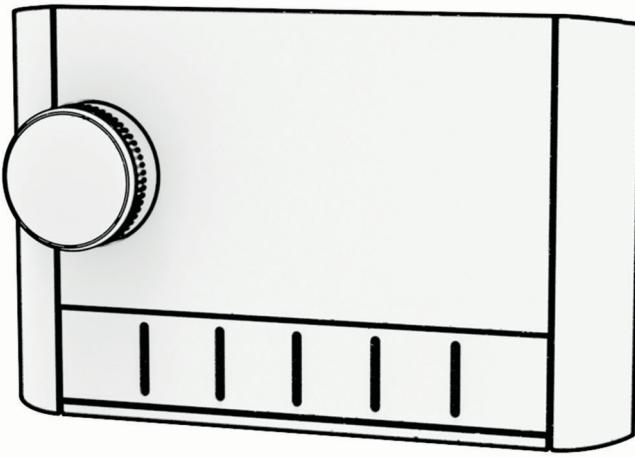


GARMIN[®]



FUSION APOLLO[™] MS-ERX400

船舶用有線リモート

© 2020 Garmin Ltd. or its subsidiaries

無断転載禁ず。著作権法により、Garmin 社の書面による承認なしに、本マニュアルの全体または一部をコピーすることはできません。Garmin 社は、ユーザーや組織に通知する責任を負うことなく本マニュアルの内容を変更または改善したり、内容を変更する権利を有します。本製品の使用に関する最新情報および補足情報については、support.garmin.com を参照してください。

Garmin®、Garmin BlueNet™、Garmin ロゴ、Fusion®、および Fusion ロゴは、米国またはその他の国における Garmin Ltd. またはその子会社の登録商標です。Fusion PartyBus™、および Fusion Apollo™ は、Garmin Ltd. とその子会社の商標です。これらの商標を、Garmin 社の明示的な許可なしに使用することはできません。

Apple® および AirPlay® は、米国およびその他の国における Apple Inc. の商標です。Android™ は Google Inc. の商標です。BLUETOOTH® ワードマークとロゴは Bluetooth SIG, Inc. の所有であり、Garmin はライセンスに基づきこの名前を使用しています。All rights reserved. その他の商標および商標名はそれぞれの所有者に帰属します。

目次

はじめに	1
コントロールメニュー	1
ダイヤルを使用したアイテムの選択	3
テキストの入力	3
リモートコントロール画面	4
デバイスの名前指定	4
ホームゾーンの設定	4
ソースを選択する	5
バックライトの輝度を調整する	5
音量を調整する	5
接続したすべてのステレオをミュートする	5
サブウーファーレベルを調整する	5
個々のゾーンの音量レベルを維持する	6
ネットワーク上のデバイスをオフにする	6
Fusion PartyBus ネットワーク	6
グループの作成	7
グループの編集	7
グループから退出する	7
グループ化されたステレオ機能	7
グループ化されたステレオソースに関する注意事項	8
グループの同期化	8
グループ同期を有効にする	8
一般設定	9
更新オプション	9
ネットワークの設定	9
DHCP クライアントとしてのデバイスの設定	9
静的 IP アドレスを設定する	10
ネットワーク設定をリセットする	10
詳細情報	10
Fusion デバイスの登録	10
デバイスのクリーニング	10
ソフトウェア更新	11
USB フラッシュドライブを使用してリモートコントロールソフトウェアを更新する	11
Fusion Audio アプリを使用したリモートコントロールソフトウェアの更新	12
Garmin ネットワークの更新の一部としてソフトウェアを更新する	12
トラブルシューティング	13
キーを押してもステレオが反応しない	13
ネットワークのトラブルシューティング	13
ソフトウェア更新のトラブルシューティング	14
仕様	15
サイズ	15

はじめに

△ 警告

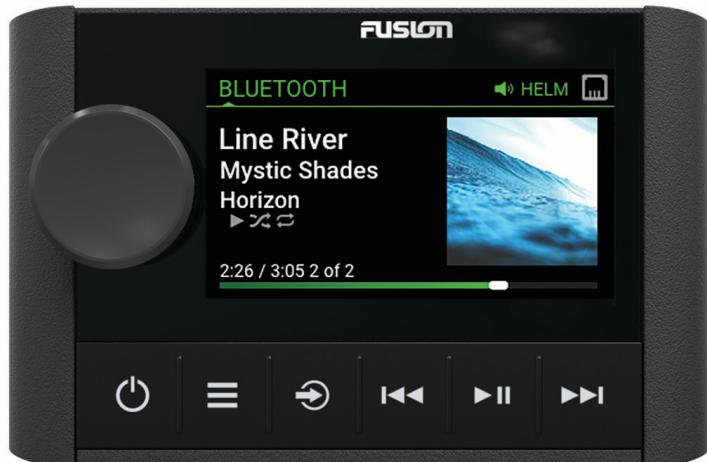
製品に関する警告およびその他の重要な情報については、製品パッケージに同梱されている『安全性および製品に関する重要な情報』ガイドを参照してください。

ERX400 有線リモートコントロールは、互換性のある Fusion®ステレオ用の別売アクセサリです。互換性のあるステレオのリストについては、garmin.com/account/register/にアクセスするか、Fusion の販売店にお問い合わせください。

リモートコントロールの機能を理解するために、このマニュアルには一般的な操作手順とリモートコントロールの設定情報が記載されています。リモートコントロールで使用できる機能は、制御しているステレオと、ステレオに接続されているソースの種類によって異なります。ステレオの詳細情報や、ステレオソースの制御手順、カスタマイズ手順については、Fusion Web サイトからステレオのオーナーズマニュアルをダウンロードしてください。

注：このリモートコントロールは、Fusion PartyBus™ネットワークに接続するか、互換性がある Fusion に直接接続し、正しく設定する必要があります。ネットワークにインストールして設定する手順については、リモートコントロール（およびネットワーク上のその他のステレオ）に付属しているインストールの説明書を参照してください。

コントロールメニュー



ダイヤル	<ul style="list-style-type: none"> 音量を調整します。 音量を調節しているとき、押すとゾーンが切り替わります。 回すと、メニューを移動したり設定を調整したりできます。 メニュー表示で、押すと強調表示されたオプションを選択できます。 長押しすると、ラジオプリセットを開く、またはミュート画面から接続されているすべてのステレオをミュートするなどの特定の機能が有効になります (接続したすべてのステレオをミュートする, 5 ページ)。
Power button	<ul style="list-style-type: none"> 押してリモートコントロールをオンにします。 押すと、オーディオがミュート / ミュート解除されます。 長押しすると、ステレオ、またはネットワーク上のすべてのステレオがオフになります。 10 秒以上長押しして、リモコンをリセットします。 <p>注：接続されているリモートコントロールの電源をオンまたはオフにすると、ステレオの電源がオンまたはオフになります。</p>
Menu button	<ul style="list-style-type: none"> 押すとメニューが開きます。 押すとメニューの前の画面に戻ります。 長押しするとメニューが終了します。
Back button	<p>押してソースを選択します。</p> <p>ヒント：ダイヤルを回して参照し、ダイヤルを押してソースを選択できます。</p> <p>Fusion PartyBus ネットワークに接続しているときに長押しするとグループメニューが開きます (Fusion PartyBus ネットワーク, 6 ページ)。</p>
Play and pause button	<ul style="list-style-type: none"> 押すと前のトラックにスキップします (該当するソースを使用している場合)。 長押しするとトラックが巻き戻しされます (該当するソースを使用しているとき)。 AM / FM : <ul style="list-style-type: none"> 押すと、前回の局やプリセットにチューニングされます。 長押しすると、チューニングが速くなります (手動モードのみ)。 AUX : 押すと、ゲインが下がります。 SIRIUSXM ソース : <ul style="list-style-type: none"> ライブモードで押すと、前のラジオ局またはプリセットにチューニングできます。 ライブモードで長押しすると、チューニングが速くなります (手動モードのみ)。 リプレイモードで押すと、前のトラックにスキップします。 リプレイモードで長押しすると、現在のトラックを巻き戻します。 DAB ソース : <ul style="list-style-type: none"> 押すと、アンサンブルで前の DAB 局に戻ります。現在のアンサンブルの始めに到達したら、前のアンサンブルで聴ける最後の局に自動的に変わります。 長押しすると、前の DAB アンサンブルに戻ります。
Play and pause button	<ul style="list-style-type: none"> BLUETOOTH または USB : 押すと、現在のトラックが一時停止になるか再開されます。 AM / FM : <ul style="list-style-type: none"> 押すと、チューニングモード (自動、手動、プリセット) が切り替わります。 長押しすると、現在の局がプリセットとして保存されます。 SIRIUSXM ソース : <ul style="list-style-type: none"> 長押しすると、再生モードとライブモードが切り替わります。 ライブモードでは、押すとチューニングモード (マニュアル、カテゴリー、プリセット) が切り替わります。 再生モードでは、押すと一時停止 / 再生します。 DAB : <ul style="list-style-type: none"> 押すと、手動チューニングモードとプリセットが切り替わります。 長押しすると、DAB 放送局がスキャンされます。

<p>Trash can symbol</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 押すと次のトラックへスキップします（該当するソースを使用しているとき）。 ・ 長押しするとトラックが早送りされます（該当するソースを使用しているとき）。 ・ AM / FM : <ul style="list-style-type: none"> ◦ 押すと、次の局またはプリセットにチューニングされます。 ◦ 長押しすると、チューニングが速くなります（手動モードのみ）。 ・ AUX : 押すと、ゲインが上がります。 ・ SIRIUSXM ソース : <ul style="list-style-type: none"> ◦ ライブモードで押すと、次のラジオ局またはプリセットにチューニングできます。 ◦ ライブモードで長押しすると、チューニングが速くなります（手動モードのみ）。 ◦ リプレイモードで押すと、次のトラックにスキップします。 ◦ リプレイモードで長押しすると、現在のトラックが早送りされます（該当する場合）。 ・ DAB ソース : <ul style="list-style-type: none"> ◦ 押すと、アンサンブルで次の DAB 局に進みます。現在のアンサンブルの最後に到達したら、次のアンサンブルで利用できる 1 つ目の放送局に自動的に変更されます。 ◦ 長押しすると、次の DAB アンサンブルに進みます。
---------------------------------	---

ダイヤルを使用したアイテムの選択

ダイヤルを使用して、画面のアイテムを強調表示して選択できます。

- ・ ダイヤルを回して、画面のアイテムを強調表示します。
- ・ ダイヤルを押して、強調表示されたオプションを選択します。

テキストの入力

- 1 テキストを入力できるフィールドで、 **Delete** を選択して、既存のテキストを消去します。
- 2 必要に応じて、 **Left arrow** または **Right arrow** を選択して数字、記号、または小文字を使用します（使用可能な場合）。
- 3 ダイヤルを回して文字を選択し、ダイヤルを押して選択します。
- 4 **Checkmark symbol** を選択して、新しいテキストを保存します。

リモートコントロール画面

画面に表示される情報は、選択したソースに応じて異なります。この例では、Bluetooth®無線技術を使用して接続したデバイスでのトラックの再生を示しています。



①	ソース名
②	アクティブゾーンおよびステータスアイコン (ネットワークステータスのアイコン、13 ページ)
③	トラックの詳細 (利用可能な場合)
④	アルバムアート (対応ソースから得られる場合)
⑤	経過時間、トラックの再生時間、プレイリスト内の総トラック数のうち現在のトラック番号 (該当する場合)

デバイスの名前指定

Fusion PartyBus ネットワーク上で本機を表示する際に識別しやすくするように、本機に一意の名前を付ける必要があります。

注：さらにカスタマイズするには、各ステレオのソースに一意の名前を付け、未使用的ソースをオフにします。詳細については、ステレオのマニュアルを参照してください。

- 1 **Menu button > 設定** の順に選択します。
- 2 名前を変更するデバイスを選択します。
- 3 **デバイス名**を選択し、オプションを選択します。
 - ・ リストから定義済みの名前を選択します。
 - ・ カスタム名を選択し、デバイスに一意の名前を入力します。

ホームゾーンの設定

ホームゾーンは、リモートコントロールでダイヤルを回したときにデフォルトで調整されるスピーカーゾーンです。

ホームゾーンは、Fusion PartyBus ネットワーク上の互換性のあるステレオで任意のスピーカーゾーンに割り当てることができます。リモートコントロールでホームゾーンを設定すると、リモートコントロールはそのステレオに関連付けられ、再生制御がデフォルトとして設定されます。

- 1 **Menu button > 設定** の順に選択します。
- 2 このリモートコントロールの名前を選択します。
- 3 **ホームゾーンを割り当てます**を選択します。
- 4 ゾーンを選択します。

ソースを選択する

- 1 Back button を選択します。
- 2 ダイヤルを回してソースを強調表示します。
注：デバイスがグループの一部である場合、ダイヤルを回してグループ内の他のデバイスのソースにアクセスします ([Fusion PartyBus ネットワーク, 6 ページ](#))。ソースは、グループと共有できない場合、グレーで表示され、選択できません。
- 3 ダイヤルを押してソースを選択します。

バックライトの輝度を調整する

- 1 Menu button > バックライトレベルを選択します。
- 2 輝度レベルを調整します。
注：バックライトの輝度は、このリモートコントロールでのみ調整できます。ネットワーク上の他のリモートコントロールやステレオの輝度を調整する場合は、各リモートコントロールまたはステレオから直接設定を調整する必要があります。

音量を調整する

このリモートコントロールを使用して、Fusion PartyBus ネットワークに接続されているステレオの任意のゾーンの音量を制御できます。

- 1 ダイヤルを回して、ステレオのホームゾーンの音量を調整します。
- 2 必要に応じて、ダイヤルを押してゾーンを切り替えます。
注：ステレオがグループの一部である場合は、グループ内のすべてのステレオの音量、または各ステレオの個々のゾーンの音量を調整できます ([Fusion PartyBus ネットワーク, 6 ページ](#))。

接続したすべてのステレオをミュートする

このステレオまたは Fusion PartyBus ネットワークに接続されているすべてのステレオの音声をすばやくミュートできます ([Fusion PartyBus ネットワーク, 6 ページ](#))。

- 1 任意のソースで、Power button を押します。
ミュート記号が表示され、このステレオの音声が消えます。
注：ステレオがグループの一部である場合、グループ化されたすべてのステレオの音声が消えます。
- 2 ダイヤルを長押しして、システムのミュートを選択します。
接続しているすべてのステレオの音声が消えます。
- 3 ダイヤルを長押しして、システムのミュート解除を選択します。
接続したすべてのステレオで音声が復元します。

サブウーファーレベルを調整する

サブウーファーレベルはゾーンごとに調整できます。

- 1 ダイヤルを押し、接続しているサブウーファーがあるゾーンを選択します。
- 2 ダイヤルを長押しします。
ゾーンのサブレベル調整が表示されます。
- 3 サブウーファーレベルを調整し、ダイヤルを押して設定します。

個々のゾーンの音量レベルを維持する

個々のゾーンの音量レベルを調整して、一部のゾーンの音量が他のゾーンよりも大きくなるようにした場合、すべてのゾーンの音量を調整すると、個々のゾーンの音量設定がすべて影響を受けます。デフォルトでは、すべてのゾーンの音量を 00 に調整すると、すべてのゾーンの音量レベルのセットが 00 になり、個々のゾーンの音量調整がすべてリセットされます。音量比を維持オプションを有効にすると、すべての音量を 00 に調整したとき、個々のゾーンの音量調整を保持できます。

注：この設定は、ステレオまたは接続されている ERX400 リモコンの音量調整にのみ適用されます。接続されているチャートプロッターまたは NRG リモコンを使用してステレオの音量を調整しても、音量レベルはリセットされます。

ヒント：この設定を有効にした場合に最適な結果を得るには、電源投入時のホームゾーンのオーディオの音量制限を 24 に設定する必要があります。詳細については、ステレオの操作マニュアルを参照してください。

- 1 **Menu button > 設定** の順に選択します。
- 2 リモートコントロールの名前を選択します。
- 3 **音量比を維持**を選択します。

ネットワーク上のデバイスをオフにする

このリモートコントロールとホームゾーンステレオをオフにすることも、ネットワークに接続されているすべてのデバイスをオフにすることもできます。

- 1 **Power button** を押し続けます。
- 2 次の中からオプションを選択します。
 - このリモートコントロールと割り当てられたホームゾーンステレオをオフにするには、**オフ : %1**を選択します。
 - ネットワークに接続されているすべてのデバイスをオフにするには、**すべてオフ**を選択します。

Fusion PartyBus ネットワーク

Fusion PartyBus ネットワーク機能を使用すると、有線接続またはワイヤレス接続を組み合わせて、ネットワーク上の互換性のある複数のステレオを接続できます。

注：Fusion ステレオを Garmin BlueNet™ ネットワークまたは Garmin® Marine Network に接続した場合は、Garmin および Fusion デバイスのみの使用に制限されます。このステレオでは、サードパーティー製のルーター、ストレージデバイス、またはその他のネットワーク製品を直接使用できない場合があります。

ヒント：ステレオが Garmin BlueNet ネットワークまたは Garmin Marine Network に接続されている場合、接続されている Garmin チャートプロッターのワイヤレスアクセスポイントにモバイルデバイスを接続し、Fusion Audio アプリを使用してステレオを制御できます。

Fusion Apollo RA670 ステレオなどの互換性のあるステレオを、Fusion PartyBus ネットワークに接続された他の互換性のあるステレオとグループ化できます。グループ化されたステレオは、グループ内のすべてのステレオで利用可能なソースを共有し、メディア再生を制御できます。これにより、船舶全体でオーディオ体験を同期させることができます。ネットワーク上の互換性のあるステレオまたはリモートコントロールから、必要に応じてグループをすばやく作成、編集、および分割できます。

グループ化されているかどうかにかかわらず、互換性のあるステレオおよびリモートコントロールを使用して、ネットワーク上の任意のステレオで使用可能なスピーカーゾーンの音量を調整できます。

Fusion PartyBus ネットワークを構築するときは、リモートコントロールに付属のインストールガイドを参照してください。

グループの作成

グループを作成する前に、互換性のある複数のステレオを Fusion PartyBus ネットワークに接続する必要があります。ネットワークのインストールと設定の詳細については、ステレオに付属のインストールガイドを参照してください。

注：ステレオをグループで使用する場合、いくつかの制限や他の注意事項があります。 詳細については、「[グループ化されたステレオソースに関する注意事項, 8 ページ](#)」を参照してください。

- 1 **Menu button > グループ** の順に選択します。

ヒント：どの画面でも Back button を長押しして、グループメニューを開くことができます。

- 2 グループ内のプライマリステレオにするステレオの名前を選択します。

- 3 グループに追加するステレオを選択します。

- 4 完了を選択します。

ソース画面から、Fusion Apollo SRX400 ステレオ、または Fusion PartyBus ネットワーク上の使用が有効になつていらないソースなど、ゾーンステレオを除く、グループ内の任意のステレオからのソースを選択できます。

グループの編集

- 1 **Menu button > グループ** の順に選択します。

- 2 グループを選択します。

- 3 グループに追加するステレオ、またはグループから削除するステレオを選択します。

- 4 完了を選択します。

グループから退出する

Fusion PartyBus グループを退出して、ステレオでローカルソースを再生できます。

- 1 **Menu button > グループ** の順に選択します。

- 2 退出するグループを選択します。

- 3 グループから削除するステレオを選択します。

- 4 完了を選択します。

グループ化されたステレオ機能

ステレオのグループを作成すると、グループ内のすべてのステレオで、追加の機能とオプションが使用可能になります。

- ・ グループを作成すると、グループ内のすべてのステレオで、1 つの同期された表示が共有されます。
- ・ グループ内の任意のステレオからソースを選択でき（ただし、いくつかの制限事項があります（[グループ化されたステレオソースに関する注意事項, 8 ページ](#)）、ソースはグループ内のすべてのステレオで同時に再生されます（ソースを選択する, 5 ページ）。
- ・ グループ内の任意のステレオで再生の操作（トラックの一時停止やスキップなど）を行うことができ、その操作はグループ内のすべてのステレオに適用されます。
- ・ グループ内の任意のステレオで、任意のゾーンの音量を調整できます。

ヒント：音量を調整するときにすべてを選択すると、グループ内のすべてのステレオの音量を同時に調整できます。

グループ化されたステレオソースに関する注意事項

ネットワーク上で再生するソースを選択する場合は、次の注意事項を確認する必要があります。

- ・ グループ化されたステレオと AirPlay®ソースを共有することはできません。AirPlay 2 ソフトウェアを使用すると、ネットワーク上の複数のステレオでコンテンツを再生できますが、ステレオはグループ化できません。
- ・ データネットワーク経由でオーディオソースをストリーミングする場合、同期されたオーディオにわずかな遅延が発生します。この遅延は、外部オーディオソースを使用している場合にも顕著になる場合があります。
 - ステレオと光出力接続されたテレビを使用しており、テレビのスピーカーを使用している場合、テレビのスピーカーからのオーディオとグループ化されたステレオでストリーミングされた光オーディオの間に遅延が発生します。
 - ラジオ局を同期し、ネットワーク接続されていないステレオで同じラジオ局を選局すると、ネットワーク接続されていないステレオからのオーディオと、グループ化されたステレオでストリーミングされたラジオ局からのオーディオの間に遅延が発生します。
 - この遅延をなくすには、ソースのグループが有効設定を変更します。ただし、ソースをグループ化したステレオと共有することはできません。

注：ステレオがグループの一部である場合は、設定を変更できません。設定を変更するには、ステレオをグループから削除する必要があります。

グループの同期化

デフォルトでは、グループ内のステレオをオフにしても、作成したグループは維持されません。グループに追加されている単一のステレオをオフにすると、それはグループから離脱します。グループ内のプライマリステレオをオフにすると、そのグループは解体されます。グループ同期を有効にすると、ステレオをオフにした後もグループメンバーシップを保持できます。グループ同期の動作は、ステレオのオン / オフの切り替え方法によって異なります。

- ・ ステレオの電源ボタンまたはイグニッショナーワイヤー（赤いワイヤー）の物理的スイッチを使用して、同期化されたステレオの電源をオン / オフにすると、グループ内の同期化されたステレオすべてが同時にオン / オフになります。これは、そのステレオがグループ内のプライマリステレオであるかどうかにかかわらず、グループ内の同期されたすべてのステレオに適用されます。
- 注：ステレオの電源メニューからすべてオフを選択すると、グループに属していない場合やグループ同期が有効になっている場合でも、ネットワーク上のすべてのステレオがオフになります。
- ・ 同期化されたステレオのオン / オフを、電源ワイヤー（黄色のワイヤー）の物理的スイッチを使用して切り替えると、グループ内の他の同期化されたステレオは次のように異なった動作をします。
 - 同期されたステレオがグループ内のプライマリステレオである場合、それを電源ワイヤーの物理的スイッチを使用してオフにすると、グループ内の他の同期されたステレオはオンのままグループから離脱します。プライマリステレオの電源を再びオンにすると、同期された他のステレオはグループに再加入します。
 - 同期されたステレオがグループ内のプライマリステレオではない場合、それを電源ケーブルの物理的スイッチを使用してオフにしても、グループ内の他の同期化されたステレオはすべてオンであり、グループ化されたままです。再びオンにすると、そのステレオはグループに再加入します。

グループ同期を有効にする

グループ同期設定を有効にする前に、既存のグループからステレオを削除する必要があります。ステレオがグループの一部である場合は、設定を更新できません。

この設定は、電源を入れ直した後でもグループ設定を保持するようにしたい各ステレオで有効にする必要があります。

1 Menu button > 設定の順に選択します。

2 ステレオの名前を選択します。

3 電源オプション > グループ同期の順に選択します。

このステレオでは、電源を入れ直してもグループ設定が保持されます。

4 必要に応じて、別のステレオについてもこの手順を繰り返します。

注：同期を正しく機能させるには、すべてのネットワークステレオでグループ同期を有効にする必要があります。

一般設定

Menu button を選択し、リモートコントロールの名前を選択して、設定を選択します。

注： 設定を選択する前に現在制御しているステレオの名前を選択した場合は、リモートコントロールではなく、ステレオの設定を調整できます。

グループ内にステレオがある場合、そのステレオの設定を変更することはできません。

次の設定の説明は、リモートコントロールにのみ適用されます。ステレオ固有の設定については、ステレオのマニュアルを参照してください。

デバイス名: ネットワークで容易に識別できるように、リモートコントロールに名前を割り当てます。

言語: リモートコントロールで使用言語を設定します。

電源オプション > 節電: バッテリー電力を節約するため、1分間何もしないと LCD バックライトはオフになります。

ホームゾーンを割り当てます: 接続済みステレオのデフォルトゾーンをリモートコントロールに割り当てます。

ネットワーク: ネットワーク設定を調整します ([ネットワークの設定](#), 9 ページ)。

更新: リモートコントロールを更新またはリセットします ([更新オプション](#), 9 ページ)。

バージョン情報: リモートコントロールのソフトウェアバージョンを表示します。

更新オプション

Menu button を選択して、デバイスの名前を選択し、**設定 > 更新** の順に選択します。

ERX リモート: ステレオに接続された USB フラッシュドライブ内の有効なソフトウェア更新ファイルを使用して、ETHERNET ポートまたは Fusion PartyBus ネットワークに接続されたステレオから、リモートコントロールを更新します ([ソフトウェア更新](#), 11 ページ)。

工場出荷時の設定にリセット: すべての設定を工場出荷時の初期設定に戻します。

ネットワークの設定

注： Garmin チャートプロッターがネットワーク上で検出されると、ステレオは自動的に Garmin® Marine Network モードに切り替わり、その他のすべてのネットワーク設定は無効になります。

Source button > 設定 の順に選択し、リモコン名を選択して、ネットワークを選択します。

DHCP クライアント: デバイスを DHCP クライアントとして設定します。これは、DHCP サーバーとして設定されていないすべてのデバイスのデフォルト設定です。

静的 IP: デバイスの静的 IP アドレスを設定できます ([静的 IP アドレスを設定する](#), 10 ページ)。

リセット: リモートコントロールのネットワーク設定を工場出荷時のデフォルトにリセットします。

詳細: ネットワーク構成に関する情報を表示します。

保存: ネットワーク設定の変更を保存できます。

DHCP クライアントとしてのデバイスの設定

このデバイスは、デフォルトで DHCP クライアントとして設定されています。DHCP クライアントとして設定されている場合、そのデバイスは、DHCP サーバーがあるネットワーク用に設定されています。ネットワークに DHCP サーバーがない場合、デバイスは短い遅延後に独自のローカル IP アドレスを割り当てます。

注： Fusion PartyBus デバイスは、ネットワーク上で DHCP サーバーなしで相互に通信できますが、最初に電源をオンにしたときに、デバイス同士の接続に時間がかかります。最良の結果を得るため、1台の適切に設定された DHCP サーバーをネットワーク上に配置することを強くお勧めします。

1 **Menu button > 設定** を選択します。

2 このデバイスの名前を選択します。

3 **ネットワーク > DHCP クライアント > 保存** を選択します。

静的 IP アドレスを設定する

ステレオは静的 IP として構成されると、自動的に IP アドレス 192.168.0.1 が割り当てられます。この IP アドレスは変更できます。

ステレオがネットワーク上の DHCP クライアントであり、DHCP サーバーがステレオに IP アドレスを自動的に割り当てないようにしたければ、静的 IP アドレスを設定します。

注： ネットワーク上のすべてのデバイスに固有の IP アドレスを設定する必要があります。ネットワーク上の別の IP アドレスと同じ静的 IP アドレスを選択すると、デバイスは正しく動作しません。

1 **Menu button > 設定** の順に選択します。

2 リモートコントロールの名前を選択します。

3 **ネットワーク > 静的 IP** を選択します。

4 次のオプションを選択します。

- IP アドレスを設定するには、**IP** を選択して IP アドレスを入力します。

- サブネットマスクを設定するには、**マスク : %1** を選択し、サブネットマスクを入力します。

注： サブネットマスクは、正しく機能するため、ネットワーク上の他のすべてのデバイスと一致しなければなりません。一般的なサブネットマスクは 255.255.255.0 です。

- デフォルトゲートウェイ IP アドレスを設定するには、**ゲートウェイ** を選択してゲートウェイ IP アドレスを入力します。

注： デフォルトゲートウェイは通常、ネットワーク上の DHCP サーバーの IP アドレスとして設定します。

5 **保存** を選択します。

ネットワーク設定をリセットする

このリモートコントロールのすべてのネットワーク設定を工場出荷時の初期設定にリセットできます。

1 **Source button > 設定** を選択します。

2 リモートコントロールの名前を選択します。

3 **ネットワーク > 詳細 > リセット > はい** を選択します。

詳細情報

Fusion デバイスの登録

今すぐオンライン登録を完了していただければ、お客様へのサポートはさらに容易になります。

- garmin.com/account/register を参照してください。
- 購入時のレシートの原本またはコピーは安全な場所に保管しておいてください。

デバイスのクリーニング

1 柔らかく清潔な糸くずの出ない布を真水で湿らせます。

2 デバイスを軽く拭きます。

ソフトウェア更新

このリモートコントロールのソフトウェアは、接続された互換性のあるステレオを使用するか、Fusion Audio アプリを使用して更新する必要があります。

最良の結果を得るには、定期的にすべての Fusion デバイスのソフトウェアを更新する必要があります。

ステレオとネットワークの接続によっては、次の更新方法のいずれかまたはすべてを使用できます。

- 1つ以上のリモートコントロール（ステレオではない）を更新する場合、それらがワイヤレスアクセスポイントでネットワークに接続されている場合は、Fusion Audio リモートコントロールアプリを使用してソフトウェアを更新できます（[Fusion Audio アプリを使用したリモートコントロールソフトウェアの更新](#), 12 ページ）。
- 1つ以上のリモートコントロール（ステレオではない）を更新する場合、リモートコントロールアプリを使用しないときは、接続されたステレオを介して USB フラッシュドライブに保存した更新ファイルを使用してソフトウェアを更新できます（[USB フラッシュドライブを使用してリモートコントロールソフトウェアを更新する](#), 11 ページ）。
- Fusion エンターテインメントネットワークの一部としてイーサネットケーブルを使用して複数のリモートコントロールおよびステレオが接続されている場合は、USB フラッシュドライブに保存されたエンターテインメントパッケージネットワーク更新ファイルを使用して、接続されているすべてのステレオとリモートコントロールを更新できます¹（[USB フラッシュドライブを使用してリモートコントロールソフトウェアを更新する](#), 11 ページ）。
- リモートコントロールが互換性のある Garmin チャートプロッターを使用してネットワークに接続されている場合は、Garmin web サイトまたは Garmin Express™ からダウンロードしてメモリーカードに保存したネットワークフルマリンパッケージ更新を使用してステレオを更新できます¹（[Garmin ネットワークの更新の一部としてソフトウェアを更新する](#), 12 ページ）。

USB フラッシュドライブを使用してリモートコントロールソフトウェアを更新する

USB フラッシュドライブを使用して、ネットワーク上の互換性のあるステレオからリモートコントロールソフトウェアを更新できます。

注記

ソフトウェアの更新中は、デバイスの電源をオフにしたり、電源を切断したりしないでください。ソフトウェアの更新中に電源をオフにすると、デバイスが応答しなくなる場合があります。

注：

- NTFS ファイルシステムを使用してフォーマットされている USB フラッシュドライブを使用し、ソフトウェアを更新することはできません。デバイスの更新中に問題が発生した場合は、FAT32 を使用して USB フラッシュドライブをフォーマットし、更新プロセスを再試行してください。
- デバイスは、更新中に数回再起動することがあります。これは正常な動作です。
- 新しいバージョンのソフトウェアのみをデバイスにプログラムできます。

1 support.garmin.com でお使いのデバイスのソフトウェアページにアクセスし、更新ファイルをダウンロードします。

2 .zip ファイルの内容を USB ストレージデバイスのルートに解凍します。

ソフトウェア更新の内容は、Garmin という名前のフォルダに格納されています。

3 ネットワーク上の互換性のある Fusion PartyBus ステレオの USB ポートに、USB ストレージデバイスを挿入します。

4 ERX400 で、Menu button > 設定の順に選択します。

5 リモートコントロールの名前を選択します。

6 更新 > アクセサリー > ERX リモートの順に選択します。

ヒント：USB ストレージデバイスを接続したステレオに画面がある場合は、ステレオの更新設定メニューから、リモートコントロールの更新プロセスを開始することもできます。

ステレオは、ネットワーク経由で更新ファイルをリモートコントロールに転送します。リモートコントロールは、ソフトウェアを更新してから再起動します。

¹ ネットワーク経由で更新を受信するには、リモートコントロールで SW バージョン 6.20 以降が実行されている必要があります。また、更新を開始するステレオで SW バージョン 6.40 以降が実行されている必要があります。

Fusion Audio アプリを使用したリモートコントロールソフトウェアの更新

Fusion PartyBus ネットワークに Wi-Fi® アクセスポイントがある場合は、Fusion Audio アプリを使用してリモートコントロールソフトウェアを更新できます。互換性のある Apple® または Android™ 用のアプリは Apple App Store™ または Google Play™ ストアで入手できます。

注記

ソフトウェアの更新中は、リモートコントロールをオフにしたり、電源を切断したりしないでください。ソフトウェアの更新中に電源をオフにすると、リモートコントロールが応答しなくなる場合があります。

注：

- リモートコントロールは、更新中に数回再起動することがあります。これは正常な動作です。
- 新しいバージョンのソフトウェアのみをリモートコントロールにプログラムできます。

- モバイルデバイスを Fusion PartyBus ネットワーク上の Wi-Fi アクセスポイントに接続します。
- Fusion Audio アプリを開き、アプリにリモートコントロールが表示されることを確認します。
- モバイルデバイスを Wi-Fi アクセスポイントから切断し、インターネットにつながる別の Wi-Fi ネットワークまたは通信事業者のモバイル通信に接続します。

注：必要なソフトウェア更新ファイルをダウンロードするには、モバイルデバイスをインターネットに接続する必要があります。

ヒント：Fusion PartyBus ネットワークが現在、インターネットへのアクセスを提供するモデルまたは SIM カードを備えたルーターに接続されている場合、更新ファイルをダウンロードするために、モバイルデバイスをネットワークから切断して通信事業者のモバイル通信を使用する代わりに、ネットワークに接続したままにしておくことができます。

- Fusion Audio アプリで、**Settings symbol > 更新を確認 > MS-ERX400 > ダウンロード** の順に選択します。
アプリがソフトウェア更新ファイルをダウンロードします。
- アプリで更新ファイルのダウンロードが完了したら、モバイルデバイスを Fusion PartyBus ネットワーク上の Wi-Fi アクセスポイントに再接続します。
- Fusion Audio アプリで、リモートコントロールの名前を選択します。
- Settings symbol > 一般 > ソフトウェアアップデートの > オンラインソフトウェア更新** の順に選択します。
アプリはソフトウェア更新を Wi-Fi ネットワーク経由でリモートコントロールに転送し、リモートコントロールはソフトウェアを更新してから再起動します。

Garmin ネットワークの更新の一部としてソフトウェアを更新する

リモートコントロールが互換性のある Garmin チャートプロッターと同じ Garmin BlueNet ネットワークまたは Garmin Marine Network に接続されている場合は、チャートプロッターでネットワーク更新を実行して、接続されているすべての Garmin デバイスと Fusion Apollo デバイスを更新できます。

注：ネットワーク経由で更新を受信するには、リモートコントロールでソフトウェアバージョン 6.20 以降が実行されている必要があります。リモートコントロールでそれ以前のソフトウェアバージョンが実行されている場合は、ネットワークの更新を試みる前に、USB フラッシュドライブまたは Fusion Audio アプリを使用して更新する必要があります。

- 必要に応じて、garmin.com/manuals にアクセスして、接続されているチャートプロッターの最新バージョンのマニュアルを探します。
- 最新の更新（マリン用）をダウンロードするには、garmin.com/support/software/marine/ にアクセスしてください。
更新をダウンロードし、チャートプロッター上のメモリーカードを使用してインストールする必要があります。ActiveCaptain® アプリを使用して Marine Network を更新しても、接続されている Fusion Apollo デバイスは更新されません。
- ネットワークの更新を実行するには、チャートプロッターのマニュアルの指示に従ってください。
リモートコントロールを含むすべての接続されているデバイスでソフトウェアが更新されます。

トラブルシューティング

キーを押してもステレオが反応しない

- ・ステレオがオフになるまで Power button を押し続け、もう一度オンにしてステレオをリセットします。
- ・ステレオの電源を 2 分間切断して、ステレオをリセットします。

ネットワークのトラブルシューティング

ネットワーク上の Fusion Apollo デバイスが表示されないか、または接続できない場合は、次の手順を実行します。

- ・すべての Fusion Apollo ステレオ、リモートコントロール、ネットワークスイッチ、ルーター、ワイヤレスアクセスポイントがネットワークに接続され、オンになっていることを確認します。
- ・1 台のデバイス（ステレオまたはルーター）のみが DHCP サーバーとして設定されていることを確認します。有線 Garmin BlueNet または Garmin Marine Network 接続を使用して Garmin チャートプロッターに接続している場合、ネットワークの DHCP サーバーとして機能するので、接続されたステレオを DHCP サーバーとして設定する必要はありません。
- ・ルーターまたはワイヤレスアクセスポイントのチャネルを変更し、干渉をテストして修正します。
近くに多数のワイヤレスアクセスポイントがある場合、無線の干渉が発生する可能性があります。
- ・Bluetooth デバイスを取り外して、干渉をテストし、修正します。
ワイヤレスアクセスポイントまたはクライアントとして設定されたステレオに Bluetooth デバイスを接続すると、ワイヤレスのパフォーマンスが低下する場合があります。
- ・静的 IP アドレスを設定した場合は、すべてのデバイスが固有の IP アドレスを持っていること、IP アドレスの最初の 3 つの数字のセットが一致していること、および各デバイスのサブネットマスクが同一であることを確認します。
- ・ネットワークの問題の原因となる可能性がある設定変更を行った場合は、すべてのネットワーク設定を工場出荷時のデフォルトにリセットします。
- ・有線 Garmin BlueNet または Garmin Marine Network 接続を使用して Fusion Apollo デバイスを Garmin チャートプロッターに接続した場合、デバイスのネットワーク設定は自動的に **Garmin® Marine Network** に変更されます。

ネットワーク設定が期待どおりに変更されない場合は、デバイスのネットワーク設定をリセットします（[ネットワーク設定をリセットする](#)、10 ページ）。

ネットワークステータスのアイコン

一部のデバイスの画面には、ネットワークステータスアイコンが表示されます。次の表を参照してアイコンの外観を把握し、Fusion PartyBus ネットワークの問題の診断に役立ててください。

	デバイスはネットワークに正しく接続されています。
	デバイスがネットワークを検出できません。イーサネットケーブルが接続されていないか、ネットワークに他の問題がある可能性があります。

ソフトウェア更新のトラブルシューティング

ダウンロードしたリモートコントロールソフトウェアの更新が正常に完了しない場合は、次の手順を実行します。

- ・ダウンロードした更新ファイルが、更新しようとしているリモートコントロール用であることを確認します。特定のリモートコントロール用ソフトウェア更新ファイルでのみ、更新できます。
- ・更新ファイルが、現在リモートコントロールにインストールされているものより新しいバージョンであることを確認します。リモートコントロールにインストールできるのは、新しいバージョンのソフトウェア更新ファイルのみです。
- ・更新ファイルが.zip ファイルから展開され、USB フラッシュドライブのルートに保存されていることを確認します。適切に準備された USB フラッシュドライブには、更新ファイルが格納された **Garmin** という名前のディレクトリがあります。
- ・USB フラッシュドライブが、FAT32 ファイルシステムでフォーマットされていることを確認します。NTFS ファイルシステムでフォーマットされた USB フラッシュドライブに保存した更新は、ステレオには適用できません。
- ・リモートコントロールが Fusion PartyBus ネットワークグループの一部である場合は、更新を開始する前にグループから解除してください。

リモートコントロールが **Garmin** ネットワーク更新の一部として更新されない

ネットワーク上の Garmin チャートプロッターを使用してリモートコントロールを更新しようとしたときに、リモートコントロールのソフトウェア更新が正常に完了しない場合は、次の手順を実行します。

- ・ネットワーク経由で更新するリモートコントロールで、ソフトウェアバージョン 6.20 以降が使用されていることを確認します。接続されているリモートコントロールでそれよりも前のバージョンのソフトウェアが使用されている場合は、ネットワーク更新に含める前に、USB フラッシュドライブまたは Fusion アプリを使用して個別に更新する必要があります。

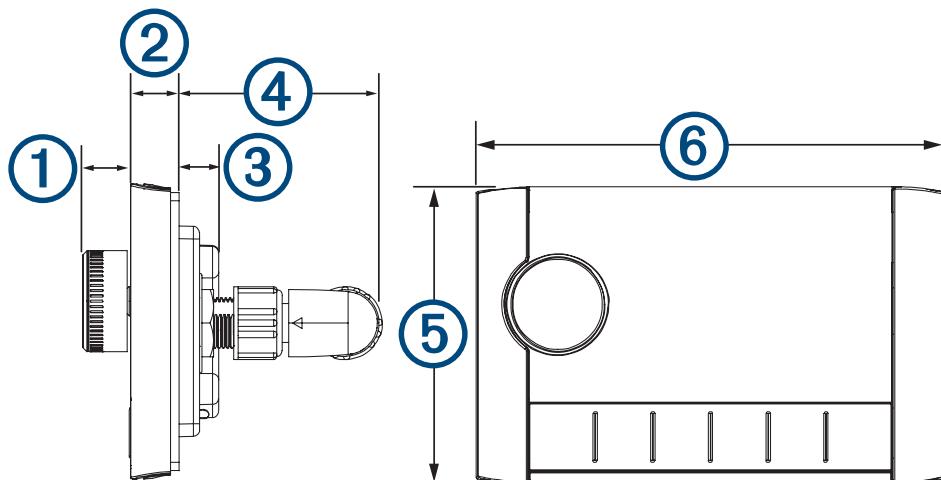
注：Fusion ステレオからソフトウェア更新を開始する場合は、ソフトウェアバージョン 6.40 以降を使用している必要があります。

- ・ネットワーク更新に初めて失敗した場合は、トラブルシューティングを進める前に再試行してください。
- ・Bluetooth デバイスを接続解除して、もう一度更新を試してください。
- ・リモートコントロールがイーサネットケーブルを使用して Garmin チャートプロッターに正しく接続されていることを確認します。
- ・ネットワークに Garmin BlueNet チャートプロッターとレガシー Garmin Marine Network デバイスの両方がある場合は、リモートコントロールが Garmin BlueNet チャートプロッターまたは Garmin BlueNet 20 スイッチに接続されていることを確認します。詳細については、garmin.com/manuals/bluenet を参照してください。
- ・ネットワークに接続されているすべてのステレオとリモートコントロールでネットワークタイプが **Garmin® Marine Network** に設定されていることを確認します。
- ・ネットワークに接続されているすべてのステレオが Wi-Fi オフに設定されていることを確認します。
- ・ネットワークタイプを変更できない場合、または Wi-Fi オフに設定できない場合は、リモートコントロールまたはステレオのネットワーク設定をリセットします(ネットワーク設定をリセットする、10 ページ)。

仕様

寸法 (幅×高さ)	11×7 cm (4.32×2.76 in.)
ダストカバーの寸法 (幅×高さ)	11.8×8 cm (4.66×3.15 in.)
重量 (ケーブルを除く)	100 g (3.5 oz.)
入力電圧	DC 10.8 ~ 32 V の負極アース
電流 (DC12 V で通常動作時)	150 mA
電流 (DC14.4 V で通常動作時)	125 mA
電流 (デバイスオフ時)	50 mA 未満
ヒューズ	1 A ATO ブレードタイプ ²
コンパス安全距離	15 cm (6.1 in.)
動作温度	0 ~ 50°C (32 ~ 122°F)
保管温度	-20 ~ 70°C (-4 ~ 158°F)
防水等級	IEC 60529 IPX6 および IPX7 ²

サイズ



² このデバイスは水深 1 m、30 分までの偶発的な水没に耐え、強力な水流から保護されます。詳細については、www.garmin.com/waterrating を参照してください。

アイテム	測定
①	12.3 mm (0.48 in.)
②	10 mm (0.39 in.)
③	10.9 mm (0.43 in.)
④	49.1 mm (1.93 in.)
⑤	70 mm (2.76 in.)
⑥	110 mm (4.32 in.)

support.garmin.com